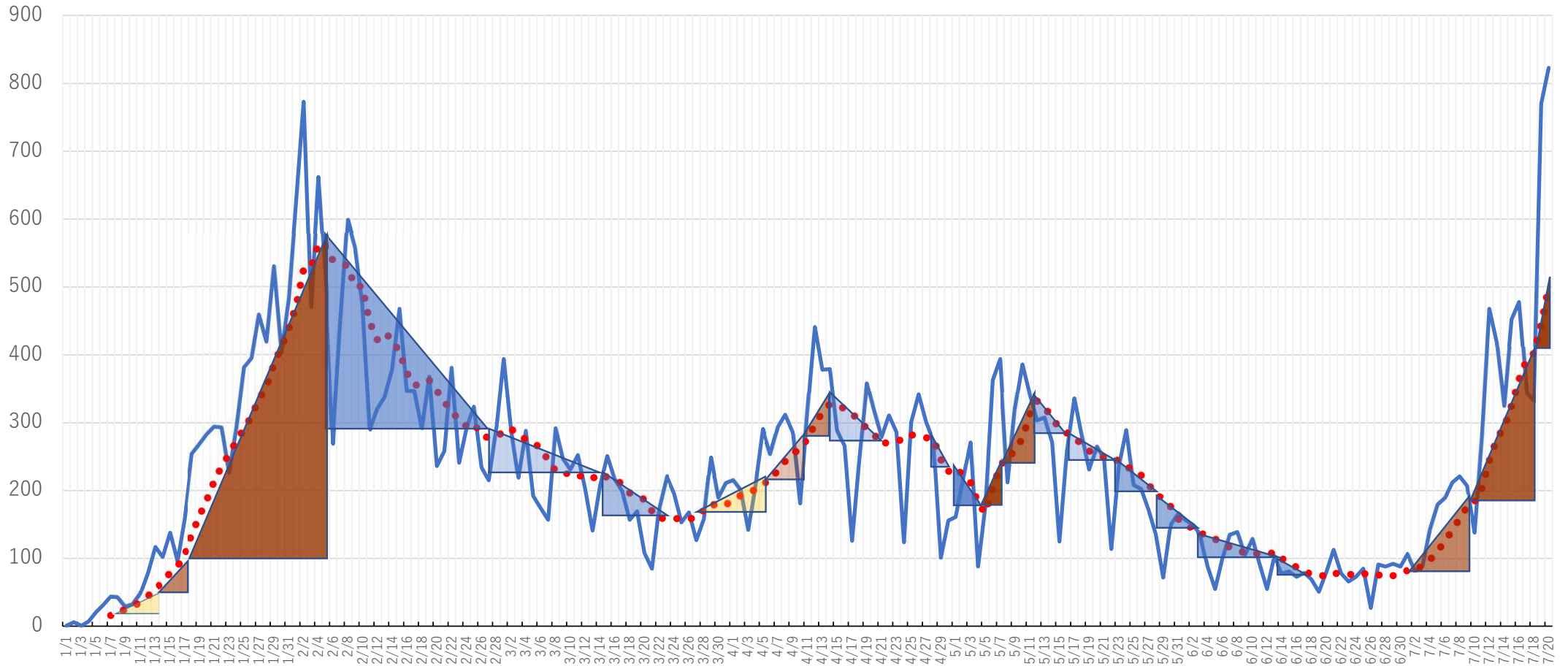


# 高齢者施設における 感染拡大防止緊急対策

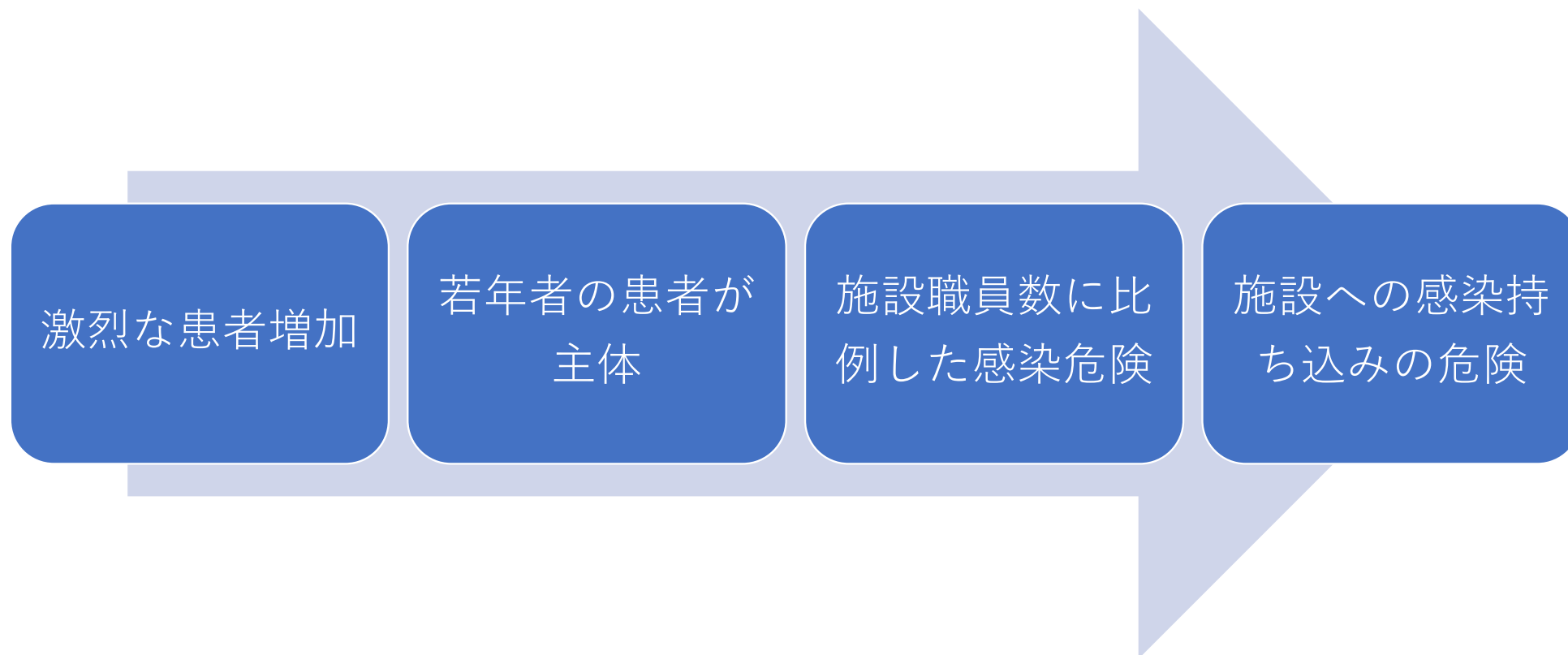
令和4年7月

岡山市保健所

# 患者探知日による発生動向



# 緊急事態



緊急に対策強化と言われて何を  
するか決まっていますか？

# 対策強化

持ち込み防止

拡大防止

発生後対応準備

既に様々な対策はしていただいています

高齢者施設等における感染対策に活用可能な手引き、教材及び研修等について  
令和4年4月27日事務連絡

<https://www.mhlw.go.jp/content/000941640.pdf>

- 常にマスクしています
- 厳重に消毒しています
- ガウンを着ています
- フェースシールドをつけてます
- 換気を厳重にしています

感染者から感染させられる  
ことの防護にはなっても  
感染させることの予防には  
あまりならない

そこでクローズアップするのがマスク

感染症病棟などでの  
適切な使用ではほぼ  
100%の感染防護

一般市民や一般病棟  
での使用普及では  
20%程度の感染防護

同じマスクでも  
使い方で大きな  
差

## 差のつく原因

マスクの適切な使い方が意外と知られていない

- ポイントは漏れ対策

知ってはいても常時守れてはいない

- 感染危険を予知する



# 対策強化のポイント

## 目的

- 従事者から利用者への感染を阻止する

## 戦略

- 従事者が感染していても利用者へは感染が起これないようにする

## 目標

- 感染の起こりやすい場面を特定できるように全職員がなる
- マスクの周りからの漏れを無くして着用できるように全職員がなる

## 戦術

- KKY(顔接近危険予知)への全従事者参加
- MMC(マスク漏れチェック)への全従事者参加

# 緊急の目的=ミッションの再確認



職員から利用者への感染を防ぐ

職員から職員への感染を防ぐ

利用者から職員への感染を防ぐ

# 戦略

## 取るべき 戦略

- たとえ職員が感染していても利用者へうつさないようにする

原理的には有効でも  
成功していない戦略

- 感染している職員を早期発見して排除する

20%を100%に近づけるという対策強化

目標: 以下を全職員ができるようになる

職員から利用者へ感染させる機会を特定する

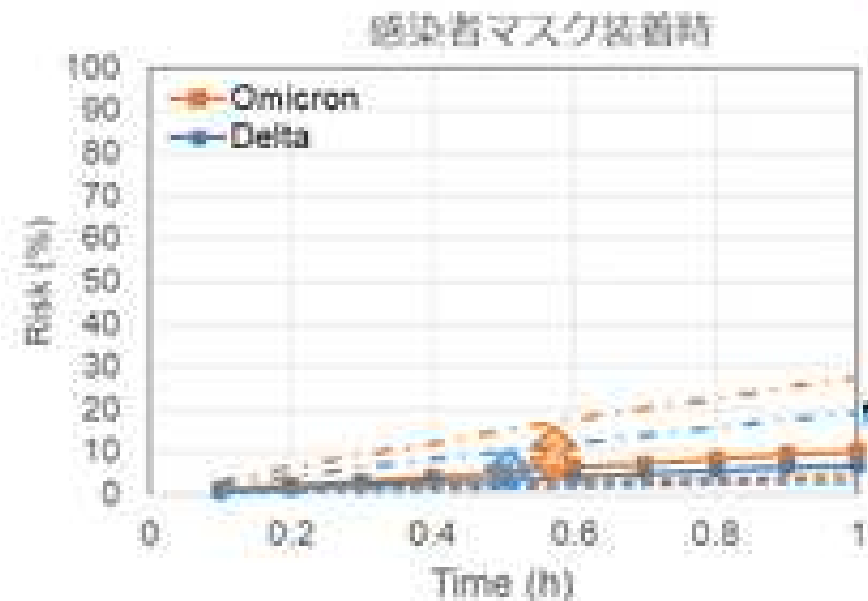
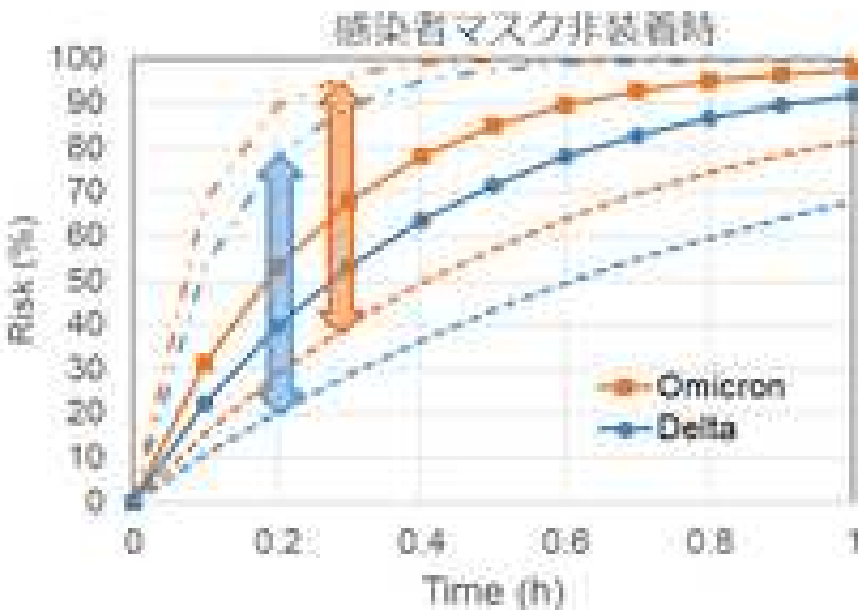
その場面を安全にする=漏れのないマスク着用

「いつも気をつけている」は  
「いつも気をつけていない」  
と表裏一体



## 15分間しゃべっている感染者と対面した時の感染リスク

- 1m（マスク非装着）及び0.5m（マスク装着）の距離での感染確率と時間の関係



提供：理研・岡大、他；調査機関：国立感染症研究所、岡大、岡大、岡大、岡大



距離の近さ



時間の長さ



声・呼気



感染させる  
危険

# 戦術1: 危険な場面を予知する能力を磨くための顔接近危険予知(KKY)

危険なのは利用者の顔の50cm(マスクなしだと2m)以内に職員の顔が接近するとき

その際の「声を出す」、「咳をする」、「息があがる」行為が危険をさらに高める



# 顔接近危険予知活動:KKY

- 自分の腕のどのあたりまでが50cmかを認識する
- 各勤務帯で何回ぐらい利用者の50cm以内に顔が近づくかを数える

	1分以内	1~5分 会話なし	1~5分 会話あり	5分以上
7月20日	正	正正	正	T

- 毎日しなくても良いです。でも、必ず一度は記録してみましよう
- だまされたと思って記録してみると注意を払うポイントが見えてきます。必ず!!!!

1m以内、特に50cm以内に近寄ったときに  
「今は危険である」ことを認識

同僚がいま危険なことをしているという見守り

声掛けに変わる仕草や眼差しの工夫(ボディー  
タッチや微笑みで感染は起こらない!!!!)

または確実にマスクからの漏れを無くすことで  
近づいても危険でないようにする



# 戦術2: 漏らさない

- 危険な場面でマスクの漏れが無いようにする

<https://www.elleair.jp/article/cm-movie/movie/201999/>



## 戦術2: マスク漏れチェックMMCの実践

- ここは一旦画面共有を止めて実演します
- マスクの周りに指を置き、息を強く吐いて、漏れがないかチェック
- 額にティッシュペーパーを貼れば、漏れを視覚的にも確認できる
- 何回かするうちに漏れを体感できるようになる



施設名

氏名

日時	マスク漏れチェックMMC			顔接近危険予知 KKY				気付いたこと 工夫したこと	
	勤務 開始時	休憩後1	休憩後2	休憩後3	1分以内	1~5分 声掛け なし	1~5分 声掛け あり		5分以上
月 日									
月 日									
月 日									
月 日									
月 日									

# 騙されたと思って記録をつけてみましょう

- 漏れ漏れマスクで利用者に近づくのは危険です
- 自分にあったマスクの付け方を確認して、いつも漏れの無いことを確認しましょう
- 確認は記録してみても初めて習慣になります
- 知らないうちに感染していても、マスクの確実な着用と危険予知で利用者/同僚への感染は阻止できます

# 対策強化

## 目的:

- 従事者から利用者への感染を阻止する

## 戦略:

- 従事者が感染していても利用者へは感染が起これないようにする

## 目標:

- 感染の起こりやすい場面を特定できるように全職員がなる
- マスクの周りからの漏れを無くして着用できるように全職員がなる

## 戦術:

- KKY(顔接近危険予知)への全従事者参加
- MMC(マスク漏れチェック)への全従事者参加

気付きと創意工夫による  
持続的改善



おまけ: マスクの周囲からの  
漏れを減らすための工夫

# マスクの漏れを減らす1: 色々なマスクを試す

- 最低限、鼻クリップをW字におる
- これだけで漏れが減るかどうかは、顔の形とマスクの形が合っているかどうかによる
- いくつかのマスクを試して一番漏れにくいものを選ぶ
- フィルター機能はどのマスクも優秀であることが様々な実験で実証済み
- あとは漏れの程度(いくらN95でも周りから漏れていたら効果はない)

## マスクの漏れを減らす2: ノーズパッドましまし

- ノーズパッドを追加して装着する商品が市販されている
  - マスクにはるこさん(単回使用)
  - フィッティPLUS(繰り返し使用可能)



# マスクの漏れを減らす3: マスク押え込み

- 外から押す:
  - 外に大きめの布マスク(ちょっと息苦しい)
  - マスクフィッター(マスピタという商品も売られている)
  - ストッキングのような素材のカバー(ちょっと怪しい?)
- 後ろに引っ張る:
  - クリップ(くびにかけるくんという商品も売られている)

## 市販マスクフィッター



布マスク重ね



ストッキングで作った  
ナイロンカバー



## マスク漏れを減らす4: 高機能マスク

- N95、KN95、FFP2
- フィルター機能は不織布マスクとほとんど差がない。
- 圧着による漏れ防止が高機能マスクの鍵
- 昔のN95とちがって、昨今の高機能マスクは息苦しくない(特にナノフィルター商品)
- 飛沫を浴びるときはディスポにせざるを得ないが、高価なためローテーションでの使用を考慮(ナノフィルター商品は原理的には洗濯可能)。